

金山町議会総務文教常任委員会管外視察報告

総務文教常任委員長 加藤 夕子

総務文教常任委員会では、7月7日～9日までの日程で産業建設常任委員会合同で山梨県小菅村、北杜市等において以下のような管外視察を行いました。

金山町の地域活性化、特に閉校となった横田小学校の跡地利用は、私たちにとって重要な課題です。そこで、先進的な取り組みを行っている他地域の事例を学ぶため、令和7年7月7日から9日までの3日間、東京都青梅市、山梨県小菅村、そして山梨県北杜市へ行政視察に行っていました。

この視察の目的は、閉校跡地や地域資源のユニークな活用事例を調査し、横田小学校跡地の有効活用に向けた具体的なヒントを得ることでした。

視察先と主な視察内容

1. 山梨県小菅村

小菅ニッポニア・ホテル（NIPPONIA 小菅 源流の村）：古民家を改修した分散型ホテルです。地域全体をホテルに見立て、村の資源を活かした滞在型観光を推進していました。

小菅村ポイントカード：村内で利用できる地域通貨のようなポイントカードシステムです。地域経済の循環を促し、村民の購買意欲を高める工夫がされていました。

サトログ：地域食材を活かしたレストランで、地元の魅力を食を通じて発信する拠点となっていました。

2. 東京都青梅市（旧青梅線沿線）

鳩ノ巣駅 JR 丸ごとホテル：無人駅の駅舎をホテルとして活用するユニークな事例です。鉄道資産の再利用と、地域への誘客を両立させていました。

3. 山梨県北杜市

小学校跡地有効活用事業：閉校した小学校の校舎・校庭を、多目的な複合施設として活用している事例です。地域住民の交流拠点、企業のサテライトオフィス、観光施設など、多様な機能を組み合わせていました。

(株)ファーマン、八ヶ岳コモンズ：これらの民間企業が、地域資源を活かした体験型プログラムや、移住者と地域住民の交流促進、農業振興などを手掛けていました。民間活力を最大限に引き出す自治体の姿勢が印象的でした。

※ 視察から得た金山町への提言

今回の視察を通じて、金山町横田小学校跡地活用の可能性を強く感じました。特に以下の点が、金山町の未来に繋がるヒントとなるでしょう。

地域資源との連携：金山町の豊かな自然や歴史、そして温泉などの地域資源を核に、滞在型の体験プログラムを組み合わせることで、観光客誘致に繋がられます。

民間活力の導入：北杜市の事例のように、魅力的な事業アイデアを持つ民間企業や団体と積極的に連携することで、自治体だけでは難しい多角的な活用が可能になります。

交流機能の重視：横田小学校跡地を、地域住民と移住者、観光客が自然と交流できる場として設計すること。例えば、地元の食材を活かしたカフェや、特産品を販売する直売所、ワークショップスペースなどを併設するのも良いでしょう。

ユニークなコンセプト：小菅村の古民家ホテルや青梅市の駅舎ホテルに代表されるように、「ここにしかない」という強みを持つことで、全国から注目を集めることができます。

横田小学校跡地は、金山町の新たな交流と賑わいの拠点となる大きな可能性を秘めています。